



ぼらんていあ通信

8月号
通巻 No.525

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年8月26日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info

たくさんの笑顔に囲まれて！！

子どもボウリング大会「ストライクパーティー」



暦の上では秋となった8月8日(金曜日)相模原パークレインズにおいて、第2回子どもボウリング大会が開かれました。

今回の大会は子どもたちによって『ストライクパーティー』と命名され、2歳から高校生までの合計34名が参加してくれました。また南児童ホーム職員9名のほか、いるかバンクから大学生まで4名で、ぼらんていあ通信の呼びかけに応じて5名の協会会員が参加、総勢52名がフロアを埋め尽くし、外の暑さをしのぐ熱気と興奮の2時間となりました。

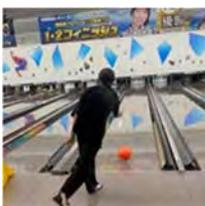
開始予定時刻を少し過ぎて指定のレーンに着席すると、恒藤会長のあいさつに続き、西本副会長からは寄付をしてくださった団体と来賓の紹介、鈴木理事からゲームのルール説明が進み、いよいよゲームの開始です。

最初は戸惑った表情をしていた子どもたちも、自分の投げた球がピンを倒す様子に、思わず笑顔がこぼれ、初対面の大学生たちとハイタッチしながらゲームに引き込まれていました。

2歳児や幼児がどのようなに楽しんでいるのか、と様子を見に行くと、大きな球を両手で抱え、怪物やソウの投球補助台に載せています。



大学生などのボランティアさん
右から
田村さん
江田さん
合田さん
松村さん



田村さんが
始球式を！



投球補助台

それをボランティアさんと一緒に「エイッと転がすと、ガーターの溝を平らにするパンパーにぶつかりながらコロコロと転がって行きました。ピンまでたどり着き何本かのピンが倒れると、トヤ顔で次の球を取りに行く様子があまりにも可愛らしいので、思わずシャッターを押しかけましたが、個人情報に抵触するので禁止されているのを思い出し留まりました。楽しかったのは子どもたちだけではありません。ボランティア参加してくださったボラ協

*次ページに続く

今大会に文具、お菓子、玩具、またご寄付などをしてくださった個人・団体の皆さま

きくやうらがみしょうじかぶしきがいしゃ
*菊屋浦上商事株式会社 様

<http://www.kikuya-net.co.jp/>

*フードコミュニティ 様

<https://foodcommunity-sagamihara.com/>

なかだて わたる
*中舘 渉 様

*株式会社 トップマネジメント 様

<https://top-management.co.jp/>

*有限会社 サガミ堂 様

<https://www.sagami-do.jp/>

*募金箱

事務局に設置した募金箱に寄付してくださった方々のお気持ちもありがたく使わせていただきました。



今回参加してくださった相模原南児童ホームさんから、ボウリング大会の様子をインスタにアップした旨をお知らせくださいました。

以下のURLから、当日の様子をご覧ください。

https://www.instagram.com/sagamiharamina_mijidou?igsh=MXRkbGJ4YW91eXEyaA%3D%3D&utm_source=qr



会員からも「参加してよかった」という笑顔とともに、次のような感想をいただきました。

- *子ども達とのふれあいが本当に楽しかったです。たぶん今年の夏一番の思い出になると確信しています。
- *高学年女子の名士のボウリングでしたが、最初はお互いぎこちなく大丈夫かな?と心配しましたが、ゲームが始まるころで一喜一憂し、娘が2人でできたような嬉しい気持ちになりました。
- *他のレーンでも大声で喜んだり、応援したりで笑顔があふれた素晴らしい時間だったと思います。
- *ゲームだけでなくボウルを拭いたり渡してくれたり小さい人たちにこちらが癒されました。
- *小さい子は少し飽きてしまっって、投げない子がいました。その分別の子が頑張っていました。
- *あの暑い盛りに幼児グループは職員さんを中心に、駅に向かって歩いていました。涼しいお店でおいしいものを食べて帰ってねと見送りのながら少し心配でした。

末筆になりましたが、この大会の趣旨に賛同し多大な寄付で応援してくださいました個人・団体の存在無くしてこの大会は開催できませんでした。その尊厳に敬意を込めて感謝させていただきます。

本誌にあのことが掲載されました。
(小川)

ほかほかふれあいフェスタ2025 の準備は順調に進んでいます!



障がいのある人もない人も、みんなで楽しむ市民のまつり『ほかほかふれあいフェスタ2025』が今年も開催されます。

10月11日(土) 10:00~15:30
あじさい会館・ウェルネスさがみはら前広場

6月11日(水)、参加団体が集まり第1回実行委員会を開催しました。これを皮切りに、本年度の準備がスタートしています。今年度も、さがみはら若者サポートステーションほかふれプロジェクトの皆さんがポスターを作成してくださっています。また、新しい参加団体をお迎えし、より一層の活気が期待されます。

4ページにボランティアさん募集の記事を掲載していますので、ぜひともお手伝いをよろしくお願いいたします。

ほかほかふれあいフェスタ実行委員会



9月の記念日は?

小倉義男

9月14日は、食いしん坊の日です。

世の中の食いしん坊に向けてさまざまな食の楽しみを提案する雑誌『dancyu (ダンチュウ)』を発行する株式会社プレジデント社が制定。食事をもっと美味しく、もっと楽しくすることを常に心掛けるとともに、生産者や料理人などへの感謝を忘れない、真の食いしん坊のための日とするのが目的。日付は9と14で「く(9)い(1)し(4)んぼう=食いしん坊」の語呂合わせから。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

食いしん坊で食べすぎないように気をつけたいですね。(^^)



小倉画

大阪・関西万博クイズです。

クイズに挑戦

①2025年大阪・関西万博のテーマ「〇〇輝く未来社会のデザイン」の〇〇に入る言葉は何でしょうか。

- ア)だれもが
- イ)ひかり
- ウ)5Gち
- エ)くまみ

②2025年大阪・関西万博の公式キャラクター「ミヤクニヤン」の目はいくつあるのでしょうか?

- ア)2つ
 - イ)4つ
 - ウ)5つ
 - エ)6つ
- ③2025年大阪・関西万博オフィシャルテーマソングを担当したのは?
- ア)ダイブクロ
 - イ)クロクロ
 - ウ)ロンクロ
 - エ)チヨウブクロ

市内活動グループ訪問記

土の会の勉強会に参加して



8月2日午前10時、ぼらんていあ通信取材のため「特定非営利活動法人相模原市難聴者協会・土の会」の勉強会に参加した。土の会の勉強会は毎土曜日に開催されるが、8月は9日、16日が夏季休暇のため急遽台風明けの2日に参加した。

当日の土の会の参加者は16名であったが、市や県から派遣の情報保障者を入れ24名であった。配置は部屋の一番奥の左に『要約筆記者』4人と壁にはそのためのスクリーン、次に「J」の字型の机（6個）には土の会会員16名と『もうろう介助者』1名が座り、最後の1列には『もうろう介助者』のパソコン要約筆記者3名が座った。

***情報保障とは、市や県が視覚障がい者や聴覚障がい者のために情報保障する制度で、**

- ・聴覚障害者のために市は要約筆記者を派遣している。
- ・視覚・難聴者のために県は通訳・介助員を派遣する。



左から
小山さん、土屋さん、佐藤さん

まず、司会の小山さんからぼらんていあ通信取材についての紹介と10月予定のバス旅行の案内があり、その後、健聴者の一さんにより1時間目の勉強が始まった。

まず、「お疲れさま、すみません」「手話

「上手」「下手」「練習」「だんご」などの手話を示しその単語の練習の後、一人ひとりがその単語を使って文章を作り発表し、それを読み取る人が立って読み取り発表するところを繰り返して16名が文章の発表と読み取りが終わり1時間目を終了した。

勉強会終了後、土屋和代理事長、小山幸子副理事長、佐藤美津子副理事長に残っていたとき「土の会」の事業内容、設立の経緯や皆さんの入会の動機などについてお聴きました。

◆「土の会」は難聴者の自立と社会参加を目的に平成元年に設立され、難聴者の土屋さんと小山さんは、手話を勉強したい、みんなと交流し情報交換したいとの思いで参加されたそう。お一人とも「1週間分の気持ちを発散する場」「言い間違えても言いたいことが言える」「聞いてもらえる」「など、この会をとても大切にされていることが伝わってきました。

そつえば勉強中の2時間、笑いが絶えず、時には言い間違えたり、すぐに手話を読み取れなかったりすることもあったが、お互いに教え合いながら、とても穏やかな雰囲気だった。

副理事長の佐藤さんは要約筆記者でもあり、長年この会に携わっていて皆さんの「コミュニケーション」のお手伝いをしている。手話もお上手で、手話を始めたきっかけがうらやま、ボランティア講座で録音ボランティアの抽選に漏れ、手話を始めたのよこのこと。3人にお話をうかがっている間長年一緒に活動なさっている様子が伝わり、人と人のつながりにも心が温まる思いがした。

(恒藤・高橋)

もうろう介助者のパソコン要約筆記者



【名称】：特定非営利活動法人相模原市難聴者協会・土の会

【会員】：26名 [難聴者16名、視覚・聴覚障害者1名、健聴者9名(ボランティア)]

【役員】理事長：土屋和代 副理事長：小山幸子・佐藤美津子(健聴者)

【事業内容】：活動内容

1. 難聴者の日常に必要な手話の勉強とコミュニケーションの悩みを話しあう場
2. 年間事業として、講演会、手芸教室、料理教室、日帰り旅行、スポーツ教室など
3. 勉強会は正月休み、夏休みを除き、原則、毎土曜日10時から12時
4. 情報保障は必ず用意します(話の内容をスクリーンに文字で表すなど)
5. 市主催の要約筆記者養成講座への協力
6. 社会福祉協議会が担当している小中学校福祉体験講座への協力



理事會報告

8月20日(水) (理事7名出席)
一、報告・連絡事項

〈広報委員会〉

- ・読みやすい理事會報告となるよう検討しました。
- ・ホームページの更新に向け準備をしました。

〈事務局委員会・HCC委員会〉

- ・HCC新規利用者受け入れに向け準備しています。
- ・HCC活動紹介の動画作製に向け、利用者、運転者の人選の準備をしました。

〈HCC委員会〉

- ・運転者研修会の開催に向け、内容、スケジュールについて検討しました。

〈講座検討委員会〉

- ・秋講座の内容、スケジュール、チラシの配布方法について検討しました。

〈傾聴委員会〉

- ・傾聴ボランティア活動の意向調査を行い、新たな活動候補者の発掘に向け協議しました。

〈映像企画実行委員会〉

- ・HCC活動紹介の動画作製に向け、シナリオ、スケジュールについて検討しました。
- ・若サポさんご進める候補としてBBS会の動画を作製するよう検討しました。

二、審議事項

- ・子どもボウリング大会の結果の検証を行いました。また、来年度の開催について実行委員会にて検討することとしました。

・ほかほかふれあいフェスタへの出店準備状況を確認しました。

次回理事會 9月18日(木) 13時30分より



相模原ボランティア協会 9月の予定

日	時間	内容
2(火)	10:00~	映像企画実行委員会
9(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
11(木)	16:00~	幸せの黄色いレシートキャンペーン(イオン橋本店)
12(金)	13:30~	高齢者住まい探し相談会(中央区)
13(土)	14:00~	ハンディキャブ運転者研修会(市民会館)・懇親会
18(木)	13:30~	定例理事會
20(土)	13:00~	事務局委員会・ハンディキャブ委員会合同会議
	15:00~	ハンディキャブ委員会
25(木)	10:30~	ぼら通9月号印刷
	13:00~	ぼら通9月号発行
27(土)	10:00~	第13回ラウンジふくしまつり



ほかほかフェスタ当日のボランティアさんを募集しています!!

~ほかほかふれあいフェスタ2025 10月11日(土)~

ボランティア活動や障がいについての理解を広げるお祭りの「ほかほかふれあいフェスタ」が開催されます。そこで、ともにお祭りを手伝い、盛り上げてくださるボランティアを募集します!

日時: 10月11日(土) 8時30分~16時30分 (※活動可能な時間をお伝えください)

場所: あじさい会館(中央区富士見6-1-20)

内容: 会場設営準備、案内誘導、イベント補助、設備片付け

*当日8:30にあじさい会館1階ロビーに集合してください。

担当と進行を確認します。

*半日の参加や数時間の参加でも構いません。

ご都合をお知らせください。

*10月3日(金)までの募集となります。

*昼食は各自でご準備ください。

ボランティアさん募集!

皆さま、お手伝いをよろしくお願ひします!

※連絡・問合せ先

・相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話042(759)7982

・相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

会員のひろば

会員の皆さま、自由にご語り
いただくコーナーです。

中学校一年生の頃!!

守屋 和郎



昭和32年4月に大野北中学校(通称北中)に入學しました。その頃の相模原はまだまだ畑が多く、春の風の強い日は火山灰の畑の土が舞い上がり北中の校庭から上溝方面を見ると空は真っ赤になっていました。市内には高い建物もほとんどなく、少し前にできた市役所の望楼からは全市が見通せると言われていました。

当時は、現在の米軍の補給廠から大野北小学校辺りまで旧陸軍の建物などが残っており、特に麻布獣医学大(現麻布大)の建物はその名残が多かったように思います。

また北中にもその遺物がまだいくつが残っています。

《その1》階段教室

入学式の後クラス分けが終って教室に入る何となくは階段教室。普通の教室の倍以上の広さがあり、教卓も分厚い板で3m以上もありました。ある先生は騒いだり、いたずらをした生徒がいると、その教卓の上で正座させ両手は大仏の真似をさせていました(今では体罰として許されないと思いますが...)。

《その2》防壁

北中の校庭はコンクリートの広さがあり、一部は

まだ林のままだ残っていました。その一角に防空壕(?)がありました。防空壕や言ってもコンクリートで固めた上に土を盛ったもので、入口の反対側から見ると高さ4〜5mの小山でした。

《その3》幽霊の話

陸軍の頃からの教室では夜になるとくんなった兵隊さんの幽霊が出る噂されていました。

一年生の夏休み、担任の先生が宿直の時に同じクラスの仲間5〜6人で学校に行きいろいろ話しているうちに、度胸試しをしようということになりました。

校庭の方から回り始め最後の校門の近くに新しくできたプールまで来たところ、プールの中で白いものがふわふわわわ...。

(続はのページ)



クイズの答え

- ①は、ウのウサギ
- ②は、ウのウサギ



ミヤクミヤクは細胞と水がひびくようになったコウデ生きた、ふじぎな生き物です。青い部分は「清い水」で、赤い部分は「細胞」です。いろんな形に姿を変えているように、人間をまねた姿が、今の姿になります。

- ③は、イのイソコ

相模原市ファミリー・サポート・センターからのお知らせ

子育てサポートしませんか!

相模原市ファミリー・サポート・センターでは、子育ての手助けがほしい「利用会員」に協力して下さる「援助会員」を紹介しています。1時間につき700円又は900円の謝礼が支払われます。

★サポート内容★

保育施設や習い事の送迎・援助会員宅、利用会員宅での子どもの預かり、見守りなど

援助会員講習会			会場
1日目	10月27日(月)	9時30分~15時	南区合同庁舎 3階 講堂
2日目	10月28日(火)	9時30分~15時30分	
3日目	10月31日(金)	9時30分~16時	

*中央区での講習会は2月の予定です。

【問合せ・申込み先】

相模原市ファミリー・サポート・センター事務局：☎042-730-3885

ボランティアさん募集！

ボランティアお願いします！いるかバンク登録者募集！

ボランティアセンターに登録し、ボランティア活動して下さる方を募集しています。
単発の活動でもOK！あなたのペースで楽しくボランティア活動してみませんか？

★現在募集中のボランティア★

障がいがある方の書類整理のお手伝い・高齢者の個人宅での傾聴ボランティアなど

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



「今月のイラスト
...たくさん買いました〜」

山口尚美画

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<7月の寄付者>

(株)トップ・マネジメント様、吉川隆一様他
3名の方からご寄付をいただきました。

<7月の寄付金>

総額 44,000円でした。



子どもボウリング大会へのご寄付をありがとうございました♪

子ども達とのボウリング大会開催に向け、募金箱をボウ協事務局に設置させていただいたところ、予想以上にたくさんのご寄付をいただきました。

プレー終盤に賞品の袋をテーブルに並べていたところ、子どもたちは「何が入っているの?」と、興味津々。いただいたご寄付で購入したお菓子などの賞品に小さな子どもから高校生まで、みんな大喜びでした。

皆さまからの温かいお気持ちに、感謝の言葉もありません。ほんとうにありがとうございました。

ボウリング実行委員会より



編集後記

ぎっくり腰を年2回はやってしまつ。今回は畑の手入れのときにうっかり腰を捻ってしまった。早速いつもの接骨院へ正式病名は「腰部捻挫と右股関節捻挫」。完治まで1ヶ月かかった。自分の予防法は歩くときに正しい座り方を心がけること。 (昔)

(5ページから)
2〜3人が先生に伝えに走りまわりました。先生も来て一緒によく見たら人が泳いでいる様子。警察官も来て確認したら近所のおじさんがどこからかプールに入り込み泳いでいたのでした。(守屋)